

高齢化社会を見据えた次世代医療関連技術研究会

◆日時：平成 23 年 12 月 22 日（木）13:30～17:15

◆場所：名古屋駅前イノベーションハブ 会議室

（名古屋市中村区名駅 4-4-38 愛知県産業労働センター 15 階）

◆参加：無料

◆定員：35 名

■講演会スケジュール・要旨：

ー13:30～14:15 「無機－有機ハイブリッド医療用部材の開発」

加藤 且也（産総研 先進製造プロセス研究部門）

従来より当研究グループでは、生分解性ポリマー（ポリ乳酸など）をベースポリマーとして、生体適合性を向上させる無機化合物（リン酸カルシウムなど）との複合部材の開発を行っている。今回、医療用への応用を目指した有機－無機ハイブリッド部材の製造方法について紹介する。

ー14:15～14:45 「微細加工を利用した検査デバイス」

吉村 千里（ブラザー工業株式会社 マシナリー・アンド・ソリューション カンパニー 開発部）

樹脂への微細構造の形成工法に関する検討と、生化学デバイスへのアプローチに関する我々の成果について紹介する。

ー14:45～15:00 ー休 憩ー

ー15:00～16:00 「生きた細胞を用いた再生医療産業化への挑戦

ー患者さん自身の細胞による人工皮膚の事業化ー

篠原 力（株式会社ジャパン・ティッシュ・エンジニアリング 研究開発部）

自家培養表皮「ジェイス」は、ヒト細胞を用いた日本初の再生医療製品として 2007 年に承認された。それに続き軟骨と角膜上皮を開発中である。また iPS 細胞由来の網膜色素上皮を用いた臨床研究の実現化にも参画している。これら研究開発の状況を紹介します。

ー16:00～17:00 「有機－無機ハイブリッドによる骨修復用バイオマテリアルの開発」

大槻 主税（名古屋大学大学院 工学研究科・工学部）

生体に対して高い親和性を発現するセラミックスの基礎成分を有機分子とハイブリッド化すれば、新しい機能を持つバイオマテリアルが得られる。骨と直接結合するセラミックスの機能を活かす有機－無機ハイブリッドについて紹介する。

ー17:00～17:15 ー総合討論・名刺交換ー

【参加申込み】

下記申込用紙をFAXでお送りいただくか、電子メールにて出席される方の氏名、勤務先、所属を明記の上、下記事務局アドレスへ送信下さい。

【お問合せ】

産総研コンソーシアム名古屋工業技術協会 事務局 (名古屋駅前イノベーションハブ内)

TEL: 052-583-6454 E-mail: aist-chubu-kyokai@m.aist.go.jp

【会場案内】

名古屋駅前イノベーションハブ

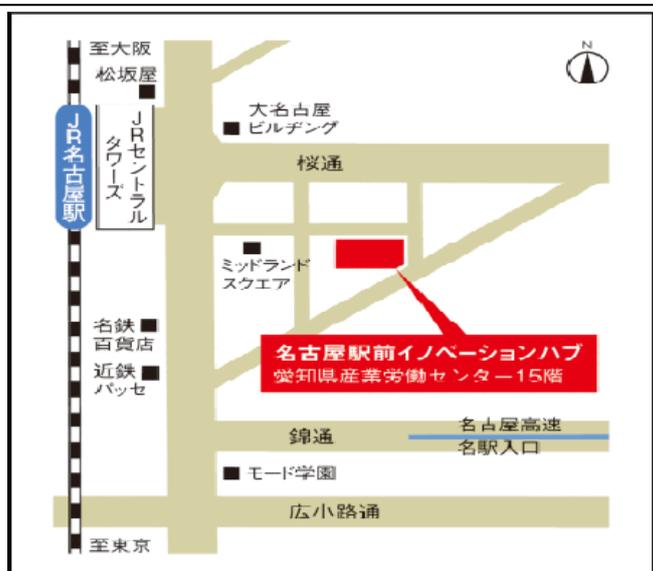
TEL : 052-583-6454 FAX : 052-583-6462

住所 : 〒450-0002

名古屋市中村区名駅 4-4-38

愛知県産業労働センター15階
(ウイंकあいち)

※ 名古屋駅より徒歩2分



産総研コンソーシアム 名古屋工業技術協会 平成23年度第2回研究会

「高齢化社会を見据えた次世代医療関連技術研究会」

参加申込書

FAX : 052-583-6462

氏名 (代表者)		参加者数	名
勤務先			
部署名		役職	
連絡先	TEL () —	E-mail:	
住所	〒		

※本申込書に記載される個人情報は産総研コンソーシアム「名古屋工業技術協会」研究会の連絡のみに利用させていただきます。